

資料4-1 ルサ川改良工事説明書(1/4)

ルサ川はルシャ川流域の反対側(羅臼側)にあります。

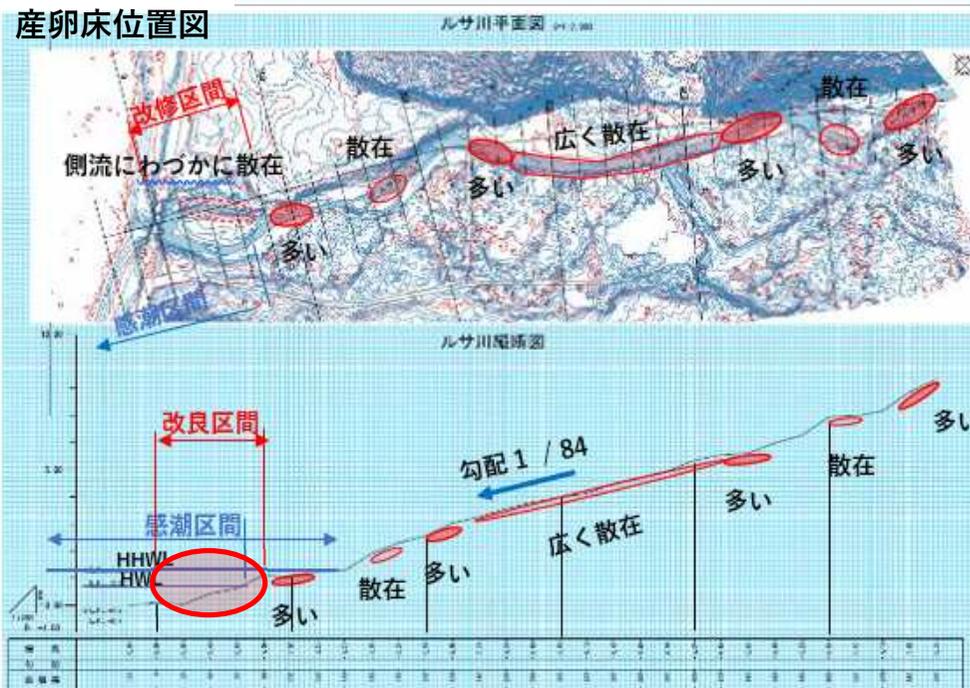
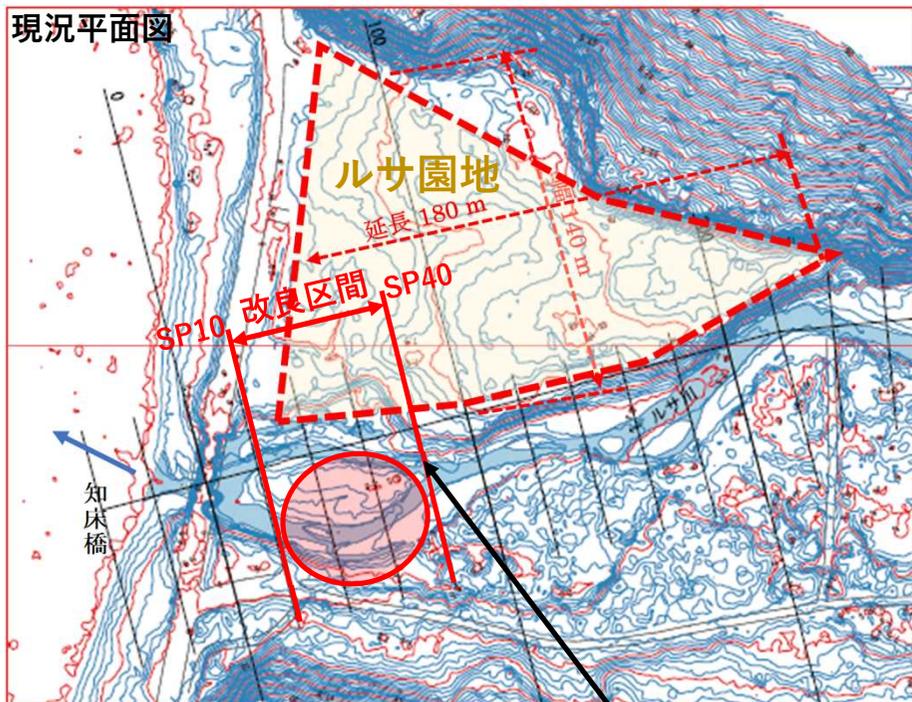
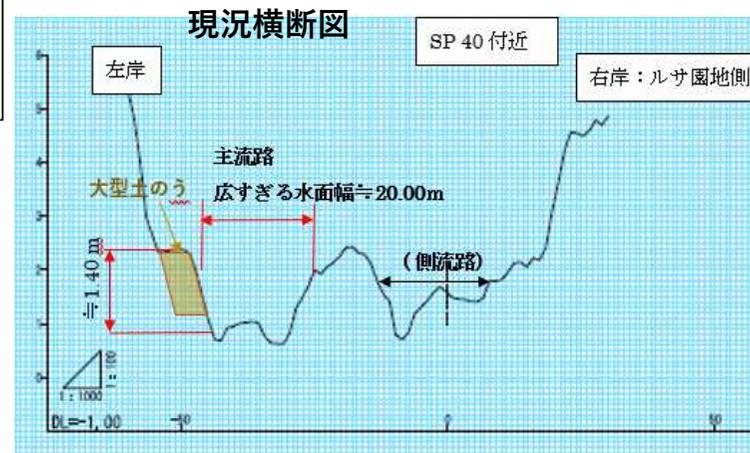


図1-1 : ルサ園地の位置図 (地理院地形図)



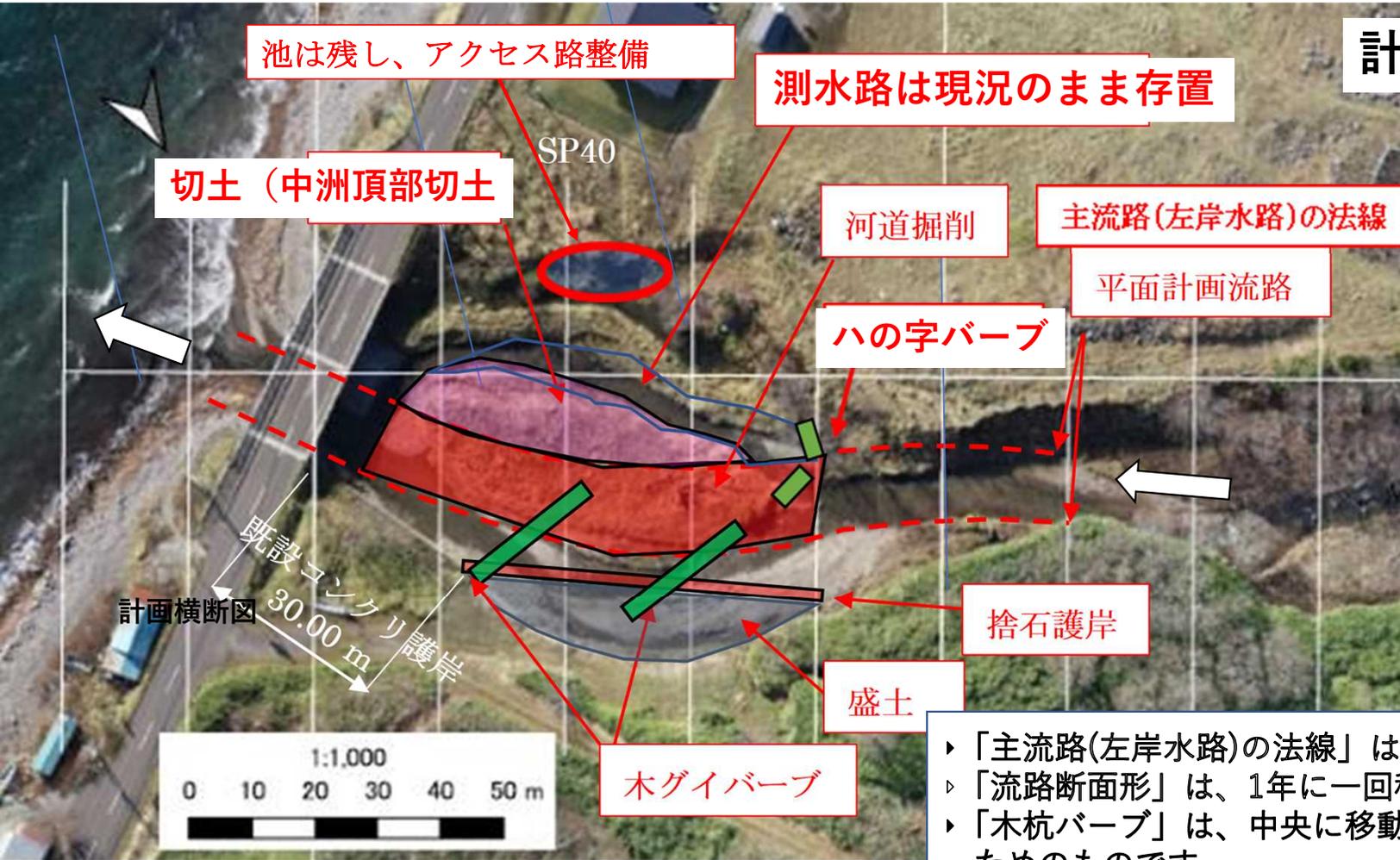
ルサ川改良工事説明書 (2 / 4)

- ルサ川の左岸侵食(現状は大型土のう)の水衝部が改良の予定区間です(延長は40m)。
- 改良区間は感潮区間に位置します。
- サケの産卵床は感潮区間の上流にあります。
- ルサ園地(環境省の土地)の利活用を検討中です。



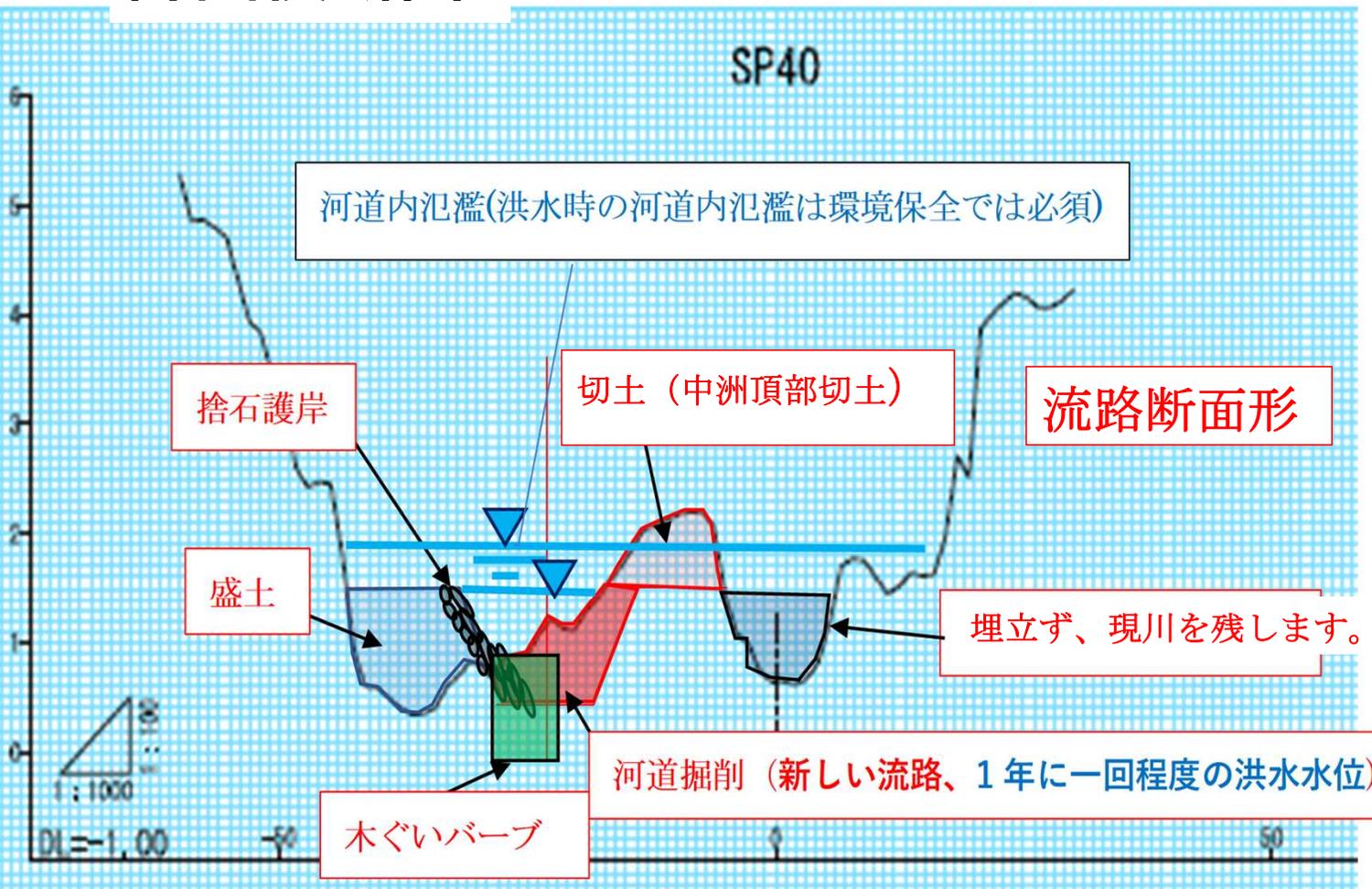
左岸(主流路)の流勢を弱めるため、右岸(側流路)に流れるよう年に1~2回、掘削しています。

計画平面図



- ▶ 「主流路(左岸水路)の法線」は中央に移動させます。
- ▶ 「流路断面形」は、1年に一回程度規模の流下断面(自律断面)です。
- ▶ 「木杭バース」は、中央に移動させた流路が元の左岸に戻らないためのものです。
- ▶ 「捨石護岸」は、洪水時に左岸に衝突する水流を比較的大きな現地河床礫で法覆防御を行うものです。
- ▶ 「側水路」を存置すると、中央に移動させた流路の維持エネルギーを確保できないので埋め立てる。
- ▶ 「中洲頂部切土」は、河道内洪水氾濫エリアを確保するためです。

計画横断面図



木杭バース略図

